

版籍奉還により、知藩事となり藩政の改革に着手したが、廃藩置県により知藩事も辞任し東京へ移る。

12代 浅野長勲 (1869 ~ 1871)

改革派を擁護、藩重役に任命し、家老・門も藩政に参加させ、那制を整備、西洋式軍制や農兵の採用による軍備を充実させる。
薩摩・長州等との交易に重点をおいた改革を推進する。
(文久の改革)

11代 浅野長訓 (1758 ~ 1869)

慶徳、わずか5か月で急死。(病死)

幕府公役や天保の大凶作などにより藩財政が破綻する。物価高騰等で領内経済が混乱し、米問屋や米商を襲う打ちこわしや、揆、騒動が多発する。

9代 浅野斉爾 (1830 ~ 1858)

重版が進めた国益政策を積極的に推進し、藩政期を通じ最も藩財政が安定する。文化・教育面でも「芸通志」を編さんするなど積極的に政策展開する。

8代 浅野齐賢 (1799 ~ 1830)

宝暦の改革を継承し、徹底した緊縮政策を行い、自身も質素儉約な生活を送った。
積極的な特産品の自給自給政策により藩財政を大幅に改善する。

7代 浅野重晟 (1763 ~ 1799)

6代 浅野宗恒 (1752 ~ 1763)

藩財政の困窮が続く中、節儉政治を基本とする改革を実施する。(宝暦の改革)

藩財政の悪化を解消するため、家老を実務から外し年寄(執政職)に人材を抜擢するなどの職制改革、武芸師範を採用し藩士の武術を奨励するといった軍制改革などを次々と行った、断絶した三次藩に代わり青山内訃分家を立てる。

5代 浅野吉長 (1708 ~ 1752)

学者を側近にして文治政治を押し進め、元禄文化が開花する。
一方で財政再建に取り組み、藩財政は窮乏化する。赤穂浪士事件の際には本家として事件の収拾に努めた。

4代 浅野綱長 (1673 ~ 1708)

3代 浅野綱辰 (1672 ~ 1673)

綱辰、1年たらずで病死。

母は徳川家康の三女振姫。家康の外孫であり、3代将軍家光の従兄弟にあたる。庶兄長治が三次藩を立てる。西国街道ほか道路の整備や職制・税制を整えるなど藩政の基盤を安定させた。

2代 浅野光晟 (1632 ~ 1672)

初代 浅野長晟 (1619 ~ 1632)

紀伊国和歌山藩(現和歌山県)から移封。広島藩の基礎を確立する。

戊辰戦争では兩館五稜郭に遠征。版籍奉還により知藩事となるも、廃藩置県により知藩事を辞任する。

10代 阿部正桓 (1868 ~ 1869)

第二次長州出兵に参加。領内治安の保持に努め、軍制の洋式改革を推進、農村を安定させるため、藩主専で社会を設立する。

9代 阿部正方 (1861 ~ 1868)

正教、3年あまりで病死

8代 阿部正教 (1857 ~ 1861)

変革期を目前にした幕府の申取として、日本開国など数々の難局打開に尽力し、福山藩では、文武両面を鍛えるための藩校「誠之館」の設立や、西洋技術を取り入れた軍制の整備に注力する。

7代 阿部正弘 (1836 ~ 1857)

正稱から輿封するも、病弱のため10年あまりで正弘(まさひろ)に家督を譲る。

6代 阿部正寧 (1826 ~ 1836)

瀬港の整備など港の繁栄策を講じるとともに、村役人の不正摘発や綱紀肅正を実施する。義倉(民間で設立された飢饉等の救済機関)の運営を援助するなど、農村安定を推進する。

5代 阿部正精 (1802 ~ 1826)

綱紀肅正や新藩札の発行、木綿統制などに取り組むも、天明の大揆などが発生する。藩政機構の簡素化や農村振興、藩校設立と文武奨励などを行い本格的な藩政改革を実施する。

4代 阿部正倫 (1769 ~ 1803)

3代 阿部正右 (1748 ~ 1769)

幕府の要職に就き、江戸での諸費用が増大し藩財政が圧迫する。藩札の乱発や御用銀の賦課等を実施するも、百姓・揆が発生する。村役人の綱紀肅正などを行い、農村の安定を図る。

2代 阿部正福 (1715 ~ 1748)

初代 阿部正邦 (1710 ~ 1715)

下野国宇都宮藩(現在の栃木県)から福山藩10万石に移封。出羽国山形藩(現在の山形県)から福山藩10万石に移封。

初代 松平忠雅 (1700 ~ 1710)

5代 水野勝岑 (1697 ~ 1698)

勝岑、1年5か月で病死して、跡目がないため水野家は改易。寛文・延宝期に地誌を実施して、領知高の実態を把握する。ゆるぎない藩体制を確立する。

4代 水野勝種 (1663 ~ 1697)

3代 水野勝貞 (1655 ~ 1665)

能や俳諧を好み、側用人政治を展開する。勝成を引継ぎ、積極的に干拓事業や産業振興を推進する。

2代 水野勝俊 (1639 ~ 1655)

初代 水野勝成 (1619 ~ 1639)

大和国郡山藩(現奈良県)から移封。福山城と城下町を建設。新開地の開発をはじめ、全国にさきがけ藩札を発行するなど、積極的に領国経営を行い、藩の基礎を確立する。

広島藩

福山藩

1600年代

1700年代

1800年代

日本の動き

世界の動き

- 1600 関ヶ原の戦い
- 1603 徳川家康が征夷大将軍になる
- 1605 徳川秀忠が将軍になる(世襲)
- 1635 武家諸法度改正
- 1639 ポルトガル船来航禁止(鎖国)
- 1663 徳川家康が征夷大将軍になる
- 1673 徳川家康が征夷大将軍になる
- 1685 徳川綱吉最初の生類憐みの令
- 1702 赤穂浪士事件
- 1716 享保の改革
- 1720 赤穂浪士事件
- 1732 イギリス産業革命(英)
- 1755 独立戦争(米)
- 1789 フランス革命(仏)
- 1800 東インド会社設立(英)
- 1642 ビューリタン革命(英)
- 1688 名譽革命(英)
- 1840 アヘン戦争(清)
- 1861 南北戦争(米)
- 1863 池田屋事件・禁門の変
- 1864 池田屋事件・禁門の変
- 1833 天保の大飢饉
- 1841 天保の改革
- 1861 南北戦争(米)